

平成29年度 県立上溝南高等学校 不祥事ゼロプログラム

県立上溝南高等学校は、不祥事発生をゼロにすることを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

1 実施責任者

上溝南高等学校は、不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長、教頭、事務長がこれを補佐する。

2 策定方針及び留意点

(1) 策定方針

上溝南高等学校の不祥事ゼロプログラムは、以下の方針に基づき策定する。

ア 課題を整理し、継続的に取り組むことで、生徒、保護者、地域等県民の信頼を得ることに努める。

イ 教職員個々の問題ではなく、教職員全員が課題を認識し共有化するとともに、学校の組織として課題解決に努める。

(2) 留意点

ア 心にかかることは、そのままにしない！報・連・相はすみやかに行う！

イ 啓発資料の活用や職員個々の具体的なヒヤリハット事例の共有により、身近な事柄を中心に、研修会、事故防止会議等において職員の注意を喚起する。

ウ グループ打ち合わせ、学年会、教科会において、日常的に気にかかる事項を共有し、その都度話題にすることにより検討・確認する。

エ 策定したプログラムを保護者や学校運営協議会に提示し、意見を取組に反映させる。

3 目標および行動計画

(1) 取組項目

I 個人情報・情報セキュリティ対策

VI 交通事故・酒酔い・酒気帯び運転の防止

II セクハラ・わいせつ行為・パワハラ防止

VII 公務外非行

III いじめ・体罰・不適切指導の防止

VIII 政治的中立の厳守

IV 私費会計・現金管理

IX 施設・設備の安全確保と管理

V 業務執行体制

(2) 行動計画指針

不祥事を次の3つに分類して対策を考える。

ア 校内システムについては、システム等の点検や課題を洗い出し事故の未然防止に努める。
(I IV V)

イ 知識・モラル上の問題については継続的・計画的に校内研修会等を実施し職員の意識高揚を図る。
(II III VI VII VIII)

ウ その他については、各グループの意見、参考事例等から必要に応じて設定する。
(IX)

(3) 行動内容

ア 学校現場特有の不祥事や公務上発生する不祥事の防止

I 個人情報管理・情報セキュリティ対策

① 目標…個人情報の流出を未然に防止する。

② 担当部署 学務情報G

③ 行動計画

・平成29年9月に個人情報の取扱いに関する事故防止研修を実施すると共に、日常的に点検及びチェックを行い事故防止に努める。

・携帯電話・電子メール等の不適切な使用の根絶に向けて、「神奈川県個人情報保護条例」等に基づいた個人情報の収集・登録・管理・破棄の徹底を図る。

IV 私費会計・現金管理

① 目標…私費会計の適切な執行についての認識を深め事故の発生を未然に防止する。

② 担当部署 副校長・事務長・私費担当者

③ 行動計画

・平成29年4月、8月に私費会計基準に則った事務処理の周知を図り、教職員の意識を高め適正な執行を図る。特に、部活動費会計について、適正な会計業務の推進に努める。

V 業務執行体制

- ① 目標…各種業務執行に際して、教職員の意識やシステムの適正化を図り、事故を事前に防止する。
- ② 担当部署 各グループ及び委員会等
- ③ 行動計画
 - ・起案の徹底。
 - ・平成30年1月に啓発資料を用いて、入学者選抜業務、調査書の作成・発行、テスト問題の作成及び成績処理に対し、担当グループ又は委員会等で点検体制を確認し、必要な見直しを行うことで、不祥事防止を目指す。

イ 知識・モラル上の事故・不祥事問題

II セクハラ・わいせつ行為・パワハラの防止

- ① 目標…セクハラ・わいせつ行為・パワハラをゼロにする。
- ② 行動計画
 - ・平成29年5月に啓発資料を用いて、職員対象の研修を実施し、職員の人権意識を高め意識喚起を図る。

III いじめ、体罰、不適切指導の防止

- ① 目標…体罰、不適切指導の発生を未然に防止する。
- ② 行動計画
 - ・平成29年10月に職員対象の研修を実施し、職員の人権意識を高める。

VI 交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転の防止

- ① 目標…交通事故の発生を未然に防止するとともに酒酔い、酒気帯び運転のゼロを維持する。
- ② 行動計画
 - ・平成29年12月に交通事故、酒酔い、酒気帯び運転防止のための研修を実施し、発生の防止に努める。

VII 公務外非行

- ① 目標…職員行動指針を再確認し、勤務時間外や職場外の行動についても、教育公務員としての高い倫理観を持って行動する。
- ② 行動計画
 - ・職員啓発資料等の活用により、教職員の意識啓発に努める。

VIII 政治的中立性の厳守

- ① 目標…県民の信頼を損なうことのないよう、厳正な服務規律の確保に努める。
- ② 行動計画
 - ・教職員が教育の政治的中立性に対する疑惑を招く行動をとらないよう、啓発資料等を用いて注意喚起を行う。

ウ その他

IX 施設・設備の安全確保と管理

- ① 目標…施設・設備の安全確保と管理により事故防止に努める。
- ② 行動計画
 - ・施設・設備に対する日常業務における点検及び危険箇所の確認と速やかな対応。

3 平成29年度 神奈川県立上溝南高等学校 不祥事ゼロプログラムスケジュール

回	月	課題	行動計画	行動計画内容
1	6	取組課題全般1	不祥事ゼロプログラムの策定 成績処理及び進路指導に関する事故防止	職員全体で検討し策定する。啓発資料を用いた研修会
2	7	取組課題2	個人情報等の管理	啓発資料を用いた研修会
3	8	取組課題6	適正な経理処理(公費・私費)	外部講師による研修会
4	9	取組課題4	情報セキュリティ・個人情報の適切な取扱い	啓発資料を用いた研修会
5	10	取組課題2	体罰防止・人権に配慮した指導	啓発資料を用いた研修会
6	11	取組課題3	入学者選抜における事故防止	啓発資料を用いた研修会
7	11	取組課題全般	第1次検証・評価	

8	12	取組課題 8	交通事故防止・交通法規の遵守	啓発資料を用いた研修会
9	1	取組課題 7	業務執行体制の確保	啓発資料を用いた研修会
10	2	取組課題 9	適切な休暇取得	啓発資料を用いた研修会
12	2	取組課題全般	第 2 次検証・評価	
13	3	取組課題10	行政文書の取扱い	啓発資料を用いた研修会
13	3	取組課題全般	最終検証・全体評価	事故防止会議で今年度の研修について検証し、来年度の課題を明確にする。

4 検証

(1) 第 1 回検証

平成29年10月までに実施状況を確認し、未実施があった場合には、平成29年10月中に補完措置を講ずる。

(2) 第 2 回検証

(3) に規定する行動計画について、平成29年12月までに実施状況を確認し、未実施があった場合には、平成29年12月中に補完措置を講ずる。

(3) 最終検証

(3) に規定する行動計画について、平成30年 3 月初旬までに実施状況を確認するとともに、各目標達成についての自己評価を行う。その結果、新たな目標設定が必要な場合は、それを含め、平成30年度における上溝南高等学校不祥事ゼロプログラムを策定する。

5 実施結果

4 (3) の検証を踏まえ「実施結果」を取りまとめる。

6 事務局

プログラムの策定及び実行の具体的手続きについては、事故防止会議がこれを行う。